



ステップアップ

熊谷市立新堀小学校
学校研究だより No. 4
令和2年3月23日(月)

全カオリンピック

3月2日(月)に全カオリンピックを行いました。臨時休校が決まり、学校へ登校する最後の日でしたが、子供たちは練習してきた成果を発揮できるよう、真剣な表情で取り組んでいました。ご家庭でのご支援ありがとうございました。



アンケートへのご協力
ありがとうございました

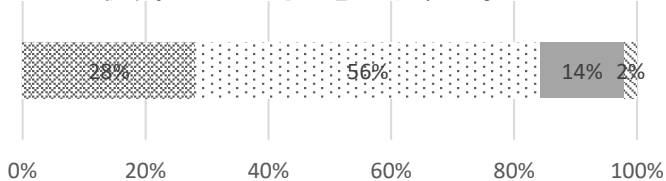


7月に続き2月に2回目の学校研究課題アンケートを実施しました。7月の時点から高い結果だったため、話し合い活動に関すること、汎用的能力に関するものに絞り、アンケートの内容を見直して児童と保護者のみなさんそれぞれに答えていただきました。今回はその結果を一部ご紹介します。

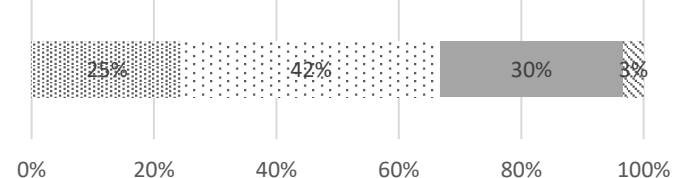
【保護者アンケート】

※ そう思う : どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえば思わない ※ 思わない

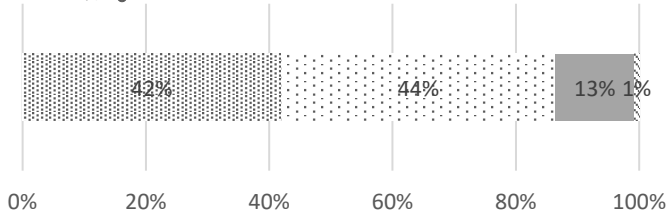
課題の解決に向けて、自分で考え、進んで取り組んでいると思いますか。



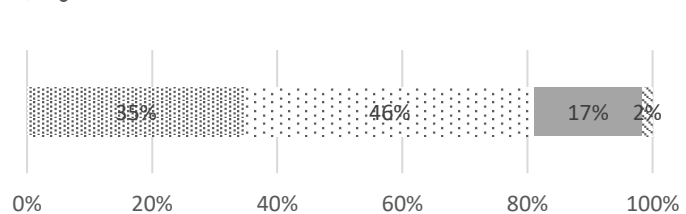
お子さんは自分の考えを大人数の前で発表することができていると思いますか。



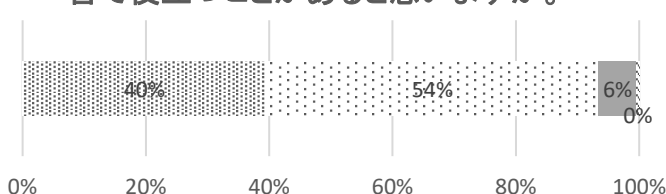
家で学校のことを上手に説明できますか。



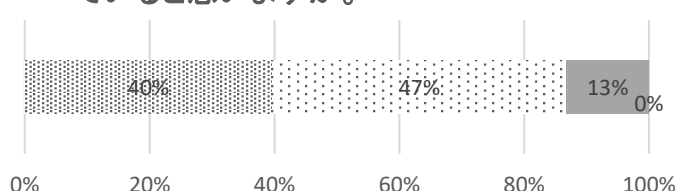
家の人の話を最後まで聞くことができますか。



ある授業で学んだことが、別の教科の学習で役立つことがあると思いますか。



授業で学んだことが、今の生活に役立っていると思いますか。

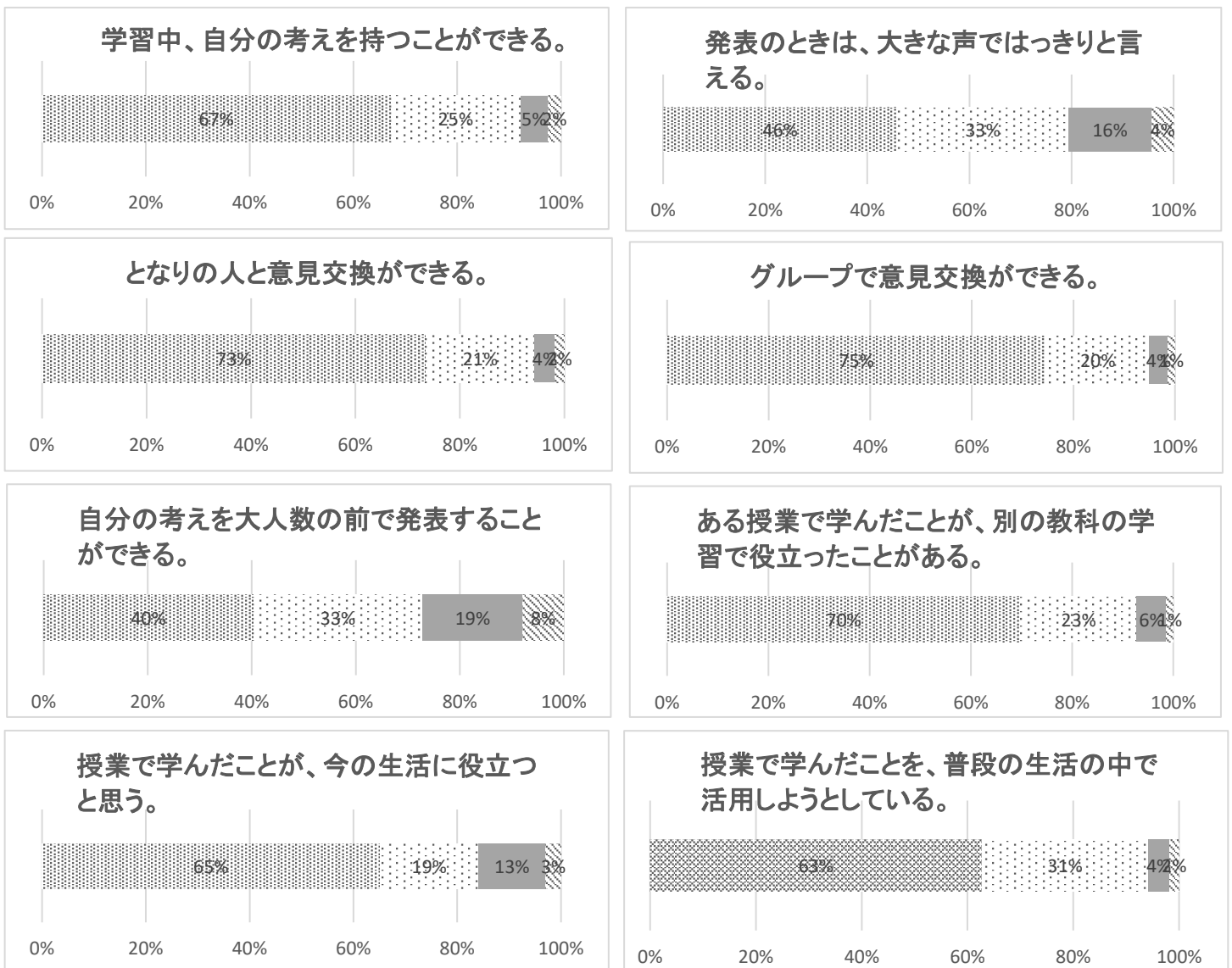


質問8の「どんな場面で役立つと思いますか。」という質問に対し、たくさんの保護者の方が回答してくださいました。その一部を紹介します。

- ・時計が読めるようになり時間を意識して行動できるようになった。(1年)
- ・数えるときに九九が使える。(2年)
- ・わり算で何個を何人で分ける、かけ算で何円を何個買うから何円になる、などがわかる。(3年)
- ・星空に興味を持つようになった。(4年)
- ・ニュースを見てどこのことかわかる(都道府県)(4年)
- ・家庭科やクラブ活動で学んだことを家の手伝いに役立っている。(5年)
- ・ニュースとの関連で興味を持って世の中を見ている。(5年)
- ・家庭科の調理実習。(6年)

など

【児童アンケート】 ※そう思う : どちらかといえばそう思う ■どちらかといえば思わない ※思わない



アンケートの結果から、大人数の前での発表を苦手としている児童が多いことがわかりました。理由として「自信が持てない」と答えた児童が多い傾向にありました。しかし、小集団の話合い活動を苦手としている児童が少ないことから、小集団をきっかけに自信を持たせ、大人数の前でも自分の考えを話せるよう、段階的に進める必要がありそうです。

教科横断的、汎用的能力に関する質問に対しては、低学年より高学年のほうが「そう思う」と答えた児童が多い傾向にありました。教科が増えたことにより、視野が広がり、汎用的能力の育成につながったと考えられます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。